

大学院医学系研究科・医学部／医学部附属病院

# 概要 2019

Mie University Graduate School of Medicine/  
Faculty of Medicine and Mie University Hospital Outline



三重大学シンボルマーク



三重大学病院シンボルマーク

# OUTLINE 2019

# 目次 Contents

■ 基本理念	01
■ ご挨拶	02
■ 沿革	04
■ 組織図	10
■ 職員・学生について	
▶ 役職員	12
・大学院医学系研究科・医学部	
・医学部附属病院	
▶ 歴代研究科長等	15
▶ 職員現員	16
▶ 学生	16
・医学部	
・大学院医学系研究科	
■ 大学院医学系研究科・医学部について	
▶ 図書及び雑誌	18
▶ 国際交流	18
▶ 解剖体数	19
▶ 科学研究費助成事業採択状況	19
▶ 外部資金受入状況	19
■ 医学部附属病院について	
▶ 病院各階案内図	20
▶ 附属病院の業務状況	21
▶ 医療行為統計	23
▶ 医療機関等の指定状況等	25
■ 敷地及び建物面積	30
■ 建物配置図	31
■ 所在地・アクセス	32

## 基本理念 Mission and Core Principles



### 三重大学医学部

#### 基本理念

確固たる使命感と倫理観をもつ医療人を育成し、豊かな創造力と研究能力を養い、人類の健康と福祉の向上につとめ、地域および国際社会に貢献する。



### 三重大学医学部附属病院

#### 基本理念

本院は、信頼と安心が得られる地域医療の拠点として、未来を拓く診療・研究を推進し、人間性豊かな優れた医療人を育成する。

#### 基本方針

- 地域の拠点病院として、安全で質の高い先進的な医療を提供します。
- 臨床研修機関として、次代の担い手となる人間性豊かな人材を育成します。
- 新しい医療を目指す臨床研究を推進し、社会に貢献します。
- 医療・医育機関との連携・支援を推進し、地域医療の発展に尽くします。
- 疾病の予防を目指した教育・研究を推進します。
- 上記の基本方針を推進するために、健全で成長性のある病院経営を行います。



## 三重大学大学院医学系研究科・医学部 医学系研究科長・医学部長 ご挨拶

三重大学医学部は、第二次世界大戦の戦時中であった昭和18年(1943)12月に軍医養成のために三重県立医学専門学校として開設され、翌年(1944)4月に開校されました。戦後「医学教育審議会」の審議を経て、昭和22年(1947)に三重県立医科大学が設立されました。昭和25年(1950)に水産学部とともに三重県立大学が成立し、三重県立大学医学部となり、昭和47年(1972)に国立移管され、三重大学医学部となりました。平成9年(1997)には看護学科が設置され、その後は医学科と2学科制であります。大学院博士課程は昭和34年(1959)に設置され、平成13年(2001)に医科学修士が設置されました。平成14年(2002)に看護学修士が、平成28年(2016)に看護学博士が設置されました。

三重県内の唯一の医学系研究科・医学部として、職業人としての道徳性や学士力を備えた医師および看護師の養成、指導力を発揮できる医療人の育成に努めています。医学科では、第6学年の約半数が参加する海外臨床実習、第1-3学年を対象にした早期海外体験実習、専門英語教育、体系的国際保健医療授業など特色のある「国際化教育」を実施しています。「地域医療教育」のために、三重県、公益財団法人三重県市町村振興協会、関連教育病院の協力を得て、6年間を通して地域で学べる体制を整備しています。また、1年間講座の研究室に配属されて研究に直接参加する研究室研修があります。看護学科では、早期海外体験実習と地域で暮らす生活者のニーズをとらえた統合実習を実施しています。入学者に関しても、地域枠を設け、医師

および看護師の三重県への定着に取り組んでいます。医学系研究科には、大学院博士課程「生命医科学専攻」、修士課程「医科学専攻」、大学院博士後期課程「看護学専攻」、前期課程「看護学専攻」があります。独自の教育プログラムを設け、地域や国際社会の健康と福祉に貢献できる次世代の高度専門医療人や医学研究者の涵養を目指しています。

私達は、美(うま)し国三重の医療を担うとともに学術成果を世界に向けて発信する医学系研究科・医学部として発展できるよう総力を上げて取り組んでいきたいと考えています。



医学系研究科長・医学部長  
片山 直之

## 三重大学医学部附属病院 病院長 ご挨拶

三重大学医学部附属病院(本院)は、1876(明治9)年5月に三重県医学兼治療所(初代校長・病院長:野口安次)が安濃郡塔世村(現在の津市栄町)に設置されたことに端を発し、1889(明治22)年9月に三重県医学学校廃校に伴い病院施設が今井病院長に貸与され私立今井病院となり、1910(明治43)年4月に貸与期間満了につき津市立病院となり、1943(昭和18)年12月に三重県立医学専門学校の設立に合わせて津市立病院が移管され同附属病院(津市栄町)となりました。1972(昭和47)年5月に三重県立大学医学部が国立移管され、1973(昭和48)年10月(私は同年4月に医学部入学)に本院が現在の場所(津市江戸橋)に開院しました。2012(平成24)年1月には屋上にヘリポートを備えた12階建ての新病棟が稼働し、2015(平成27)年5月に新外来・診療棟が開院し、さらに2018(平成30)年3月には駐車場・外構工事も終了して、ここに全く新しい本院が完成しました。また2019(令和元)年9月には本院敷地内を含む三重大学構内を散歩やジョギングができるトリムコース(Trim course)が整備され、皆様の憩いのコースとなることを期待しています。

本院の基本理念は、「信頼と安心が得られる地域医療の拠点として、未来を拓く診療・研究を推進し、人間性豊かな優れた医療人を育成する。」です。これを私なりに簡潔な表現に致しますと、「安全文化のもと高度救急・先端医療の推進と地域医療への貢献」となります。すなわち本院では、高度救急・先端医療を、心の安らぎ・癒しと共に提供できる病院環境を構築するとともに、臓器別診療体制により、ほぼすべての医療領域をカバーすることができる専門診療科を開設し、さらに専門診療科および職種の異なる医療従事者を横断的・有機的につなげるためのセンター機能(周産母子センター、血管ハートセンター、緩和ケアセンターなど)を充実させることで、診療面において総合的なパワーアップが図られています。大学病院の使命である診療、研究、教育、地域貢献ならびに国際化の活動において、大きく飛躍できる基盤が整備されています。本院は、診療においては三重県唯一の特定機能病院(高難度手術や先端医療を提供できる医療機関として厚生労働省に承認を受けた医療機関)として、高度急性期・急性期医療に携わり、三重県の医療における最後の砦として県民、市民の皆様のご期待に沿えるよう努力して参ります。また、がんセンターのない三重県において、県下の病院と密接なネットワークを構築し、最新かつ先進的ながん診断・治療を行えるがん診療連携拠点病院、小児がん拠点病院としての活動を進めて参ります。また、個々のがん患者に最適な医療を提供するため、がんゲノム医療を牽引する高度な機能を有する医療機関を目指しています。救命救急センターの機能強化やドクターヘリによる救急医療をより活発にし、3次救急のみならず、2次医療圏にもさらに救急診療活動範囲を広げ、生活習慣病、循環器系疾患に対しても、迅速にレベルの高い医療を行える病院として、診療機能を高めています。

中央手術部には、各診療科が行う高度先端医療に対応するために、ハイブリッド手術室を完備して、臓器移植(腎移植・肝移植など)、新生児手術(複雑心奇型も含む)、ロボット補助下内視鏡手術(ダビンチ:現在2台が稼働)、腹腔鏡・胸腔鏡などの鏡視下手術、センチネルリンパ節ナビゲーション手術から、日帰り手術まで幅広い手術に対応しています。2017(平成29)年より形成外科やリウマチ・膠原病センターの診療活動も開始し、本年度はリハビリ

テーション部の充実と、痛みに関連した病気に悩んでいる患者さんを総合的に診断し治療する痛みセンターも開設します。また、社会のニーズである質の高い臨床研究、国際医療や災害医療に関する活動推進も行っています。

教育に関しては、県下唯一の医学部医学科(現在定員125名)、さらに看護学科(現在定員80名)も兼ね備える三重大学医学部の教育病院として医師・看護師養成に重要な機能を果たしています。医師の初期臨床研修(卒業2年間)に加え、2018(平成30)年度より開始された専門医制度(3年間)においても、三重大学が中心となり医師の育成を行っています。看護師やメディカルスタッフの卒業教育、キャリア形成教育にも力を入れ、臨床研修・キャリア支援部を中心としてこれらの活動を推進しています。

医学・医療の発展と、医療人のキャリア形成に重要な研究、特に臨床研究に関しても、本院は三重県における中心的施設です。本院の臨床研究開発センターが中心となり、県下の診療情報データベースを繋いだ30万人規模の地域圏統合型医療情報データベース事業(Mie-LIP DB)も実働が始まり、2018(平成30)年4月1日より施行された臨床研究法を遵守した質の高い臨床研究の推進にも重要な機能を発揮していきます。

さらに本院は、県内唯一の大学病院で、創立75年を超える歴史があることから、県内の多くの基幹病院などへ928名(平成29年6月1日現在)の医師派遣も行い、地域医療の充実、医師不足地域における医療の確保に貢献しています。今後いま以上に努力を重ね、診療、研究、教育、地域貢献、国際化など、新しい時代のニーズに応えられるような病院を創生していきます。どうぞよろしく願い申し上げます。



病院長  
伊佐地 秀司

明治 9年 5月	三重県医学校が安濃郡塔世村(現在の津市栄町)三重県公立病院内に設立される
明治16年 9月	文部省より甲種医学校(全国で13校)として認可される
明治19年 3月	三重県医学校廃止(三重県公立病院は存続)
明治22年 9月	三重県公立病院の施設を私立今井病院に貸与
明治43年 4月 1日	私立今井病院の貸与期間満了につき三重県から移管され津市立病院となる
昭和18年12月10日	三重県立医学専門学校設立 津市立病院が移管され同附属病院となる
昭和19年 4月	三重県立医学専門学校開校
昭和22年 6月18日	三重県立医科大学設置
昭和23年 4月 1日	三重県立医科大学附属医院厚生女学部(甲種看護婦養成所)開校
昭和25年 3月14日	三重県立大学設置
昭和26年 3月31日	三重県立医学専門学校廃止
昭和27年 2月20日	三重県立大学医学部設置
4月 1日	三重県立医科大学附属医院厚生女学部を 三重県立大学医学部附属病院厚生女学部と改称
昭和30年 3月26日	三重県立医科大学廃止
4月 1日	三重県立大学医学部進学課程開設
昭和34年 3月20日	三重県立大学大学院医学研究科設置
4月 1日	三重県立大学医学部附属病院厚生女学部を 三重県立大学医学部附属病院高等看護学校と改称
昭和35年 1月 1日	三重県立大学医学部附属病院高等看護学校を 三重県立大学医学部附属高等看護学校と改称
昭和43年 6月 2日	三重県立大学国立移管期成同盟会設立
昭和47年 5月 1日	三重大学医学部設置
〃	三重県立大学医学部を国立移管(学年進行昭和47~50年度)
昭和48年10月 1日	三重大学医学部附属病院設置
〃	三重県立大学医学部附属病院を国立移管
昭和49年 4月 1日	三重大学医学部附属看護学校設置
〃	三重県立大学医学部附属看護学校を国立移管
昭和50年 3月29日	三重大学医学部附属看護学校校舎竣工

昭和50年 4月 1日	三重大学大学院医学研究科(博士課程)設置
昭和51年10月 1日	附属病院に材料部を設置
昭和52年 4月 1日	医学部に麻酔学講座を設置
10月 1日	附属病院に麻酔科を設置
昭和53年 4月 1日	医学部に脳神経外科学講座を設置
昭和54年 4月 1日	医学部附属動物実験施設を設置
10月 1日	附属病院に脳神経外科を設置
昭和55年 3月10日	附属病院東病棟竣工
4月 1日	附属病院事務部の改組に伴い総務課、管理課及び医事課となる
昭和56年 4月 1日	附属病院に救急部を設置
昭和58年 4月 1日	医学部に臨床検査医学講座を設置
昭和59年 4月 1日	附属病院に輸血部を設置
昭和60年 4月 1日	附属病院に分娩部を設置
昭和62年 5月21日	医学部及び附属病院事務部を統合し、 医学部事務部(総務課、管理課、学務課及び医事課)に改組
昭和63年10月 1日	三重大学に三重大学医療技術短期大学部を併設
平成 元年 5月29日	附属病院に神経内科を設置
平成 2年 6月 8日	医学部に分子病態学講座を設置
平成 3年 3月31日	三重大学医学部附属看護学校廃止
4月12日	附属病院に集中治療部を設置
平成 5年 4月 1日	医学部に生体防御医学講座を設置 附属病院に医療情報部を設置
平成 7年 4月 1日	附属病院の分娩部を改組し、周産母子センターを設置
平成 8年 5月11日	附属病院に病理部を設置
平成 9年 9月 1日	附属病院に栄養部を設置
10月 1日	医学部に看護学科を設置
平成10年 4月 9日	医学部医学科に神経内科学講座を設置
平成11年 4月 1日	附属病院に総合診療部を設置
平成13年 1月17日	附属病院に治験管理センターを設置
3月 8日	医学部看護学科棟竣工
4月 1日	大学院医学研究科に医科学専攻(修士課程)を設置 附属病院に光学医療診療部を設置



平成14年	3月20日	附属病院に卒後臨床研修部を設置
	4月 1日	大学院医学研究科を医学系研究科に改め、看護学専攻(修士課程)を設置
	〃	附属病院に血液浄化療法部を設置
	〃	附属病院に安全管理室を設置
	〃	附属病院にME室を設置
	〃	大学院医学系研究科に寄附講座(先進医療外科学講座)を設置
平成15年	1月 1日	附属病院にリハビリテーション部を設置
	1月16日	附属病院に細胞移植療法部を設置
	3月31日	医学部附属動物実験施設を全学生命科学研究支援センターへ移管
	4月 1日	附属病院に医療福祉支援センターを設置
	〃	大学院医学系研究科を改組し「生命医科学専攻」を設置
平成16年	2月 1日	附属病院の診療科・診療部を臓器別に改組
	4月 1日	国立大学法人 三重大学となる
平成17年	4月 1日	三重大学大学院医学系研究科の部局化と改組による大講座化
	〃	大学院医学系研究科に産学官連携講座(遺伝子・免疫細胞治療学講座)を設置
	9月 1日	大学院医学系研究科に産学官連携講座(先進的脳血管内治療学講座)を設置
	9月 7日	附属病院に臨床麻酔部を設置
	11月 1日	医学部医学・医療教育開発推進センターを医学部医学・看護学教育センターに改組
	〃	附属病院にオーダーメイド医療部を設置
平成18年	1月 1日	附属病院栄養部を栄養管理部に改組
	〃	附属病院治験管理センターを臨床研究開発センターに改組
	4月 1日	大学院医学系研究科に寄附講座(がんワクチン講座)を設置
	〃	医学部事務部を医学部・医学系研究科チーム及び病院事務部に改組
	6月28日	附属病院にがんセンターを設置
平成19年	1月 1日	附属病院安全管理室を安全管理部に改組
	〃	大学院医学系研究科に産学官連携講座(臨床創薬研究学講座)を設置
	3月 1日	大学院医学系研究科に寄附講座(地域医療学講座)を設置
	4月 1日	附属病院に感染制御部を設置
	11月 7日	附属病院に乳腺センターを設置
平成20年	6月 1日	附属病院に健診センターを設置
平成21年	1月 1日	附属病院総合診療部を廃止し総合診療科を設置

平成21年	1月20日	附属病院に肝炎相談支援センターを設置
	4月 1日	附属病院に外来化学療法部を設置
	〃	附属病院医療情報部を医療情報管理部に改組
	〃	附属病院ME室を臨床工学部に改組
	5月 1日	大学院医学系研究科に寄附講座(スポーツ整形外科学講座)を設置
	6月 1日	附属病院にAiセンターを設置
	8月 1日	附属病院腫瘍・免疫内科を腫瘍内科に改組
	〃	附属病院画像診断科をIVR科と放射線診断科に改組
平成22年	4月 1日	附属病院にIT広報センターを設置
	〃	附属病院安全管理部及び感染制御部を廃止し医療安全・感染管理部を設置
	〃	大学院医学系研究科に寄附講座(脊椎外科・医用工学講座)を設置
	〃	大学院医学系研究科に寄附講座(認知症医療学講座)を設置
	6月 1日	附属病院救急部を廃止し救命救急センターを設置
	10月 1日	附属病院に臓器移植センターを設置
	〃	三重大学大学院医学系研究科・医学部地域連携医療研究センターを設置
平成23年	4月 1日	三重大学大学院医学系研究科・医学部地域連携医療研究センターに産学官連携推進室を設置
	6月 1日	大学院医学系研究科に寄附講座(亀山地域医療学講座)を設置
	〃	附属病院卒後臨床研修部を附属病院臨床研修・キャリア支援センターに改組
	10月 1日	大学院医学系研究科に寄附講座(臨床心血管病解析学講座)を設置
	11月 1日	三重大学大学院医学系研究科・医学部バイオバンクセンターを設置(改称)
平成24年	1月 1日	新病棟・診療棟開院
	2月 1日	三重県ドクターヘリの運航を開始
	4月 1日	附属病院に血管内治療センターを設置
	〃	附属病院にCCUネットワーク支援センターを設置
	〃	大学院医学系研究科に寄附講座(伊賀地域医療学講座)を設置
	〃	三重大学医学系研究科の改組による講座再編
	8月 1日	附属病院に疫学センターを設置
	9月 1日	大学院医学系研究科に寄附講座(津地域医療学講座)を設置
平成25年	4月 1日	大学院医学系研究科に産学官連携講座(地域包括ケア・老年医学講座)を設置
	6月 1日	附属病院に形成外科を設置



平成25年 6月 1日	附属病院に災害医療センターを設置
〃	附属病院に口腔ケアセンターを設置
9月 1日	附属病院に認知症センターを設置
〃	附属病院に小児トータルケアセンターを設置
10月 1日	附属病院に国際医療支援センターを設置
12月 1日	大学院医学系研究科に地域医療学講座(未来医療研究人材養成拠点形成事業)を設置
平成26年 1月 1日	大学院医学系研究科に寄附講座(県南部地域医療学講座)を設置
2月 1日	大学院医学系研究科に寄附講座(循環器内科地域連携学講座)を設置
4月 1日	附属病院に病理診断科を設置
〃	附属病院に緩和ケア科を設置
〃	附属病院に緩和ケアセンターを設置
〃	附属病院に血管ハートセンターを設置
〃	医学部・医学系研究科チーム及び病院事務部を統合し、 医学・病院管理部(総務課、経営管理課、学務課、医療サービス課)に改組
平成27年 2月 1日	附属病院に専門医研修支援センターを設置
4月 1日	大学院医学系研究科に寄附講座(先進画像診断学講座)を設置
〃	附属病院に高度生殖医療センターを設置
〃	附属病院に予約センターを設置
〃	医学・病院管理部医療サービス課を医学・病院管理部医事課に名称変更
5月 1日	附属病院にチーム医療推進センターを設置
〃	大学院医学系研究科に寄附講座(周産期新生児乳児発達障害予防学講座)を設置
5月 7日	新外来・診療棟開院
平成28年 4月 1日	附属病院に感染症内科を設置
〃	大学院医学系研究科を改組し看護学専攻(博士前期課程)と 看護学専攻(博士後期課程)を設置
7月 1日	附属病院救命救急センターを救命救急・総合集中治療センターに改組
8月 1日	大学院医学系研究科に基礎医学系講座(分子生理学分野)を設置
平成29年 4月 1日	附属病院医療安全・感染管理部を医療安全管理部と感染制御部に改組
〃	大学院医学系研究科に基礎医学系講座(統合薬理学分野)を設置
〃	大学院医学系研究科に臨床医学系講座(形成外科学分野)を設置
〃	大学院医学系研究科に寄附講座(先進がん治療学講座(先進がん治療学分野))を設置
〃	附属病院栄養管理部を栄養診療部に改組

平成29年 4月 1日	附属病院に入退院サポートセンターを設置
8月 1日	大学院医学系研究科に(多様な新ニーズに対応する「がん専門医療人材 (がんプロフェッショナル)」養成プラン)放射線腫瘍学講座を設置
10月 1日	大学院医学系研究科に臨床医学系講座(リウマチ学分野)を設置
〃	大学院医学系研究科寄附講座(循環器内科地域連携学講座)を 寄附講座(循環器腎臓内科 連携学講座)に名称変更
〃	附属病院輸血部、細胞移植療法部を輸血・細胞治療部に改組
〃	附属病院にリウマチ・膠原病センターを設置
平成30年 3月 1日	大学院医学系研究科に産学官連携講座(個別化がん免疫治療学講座)を設置
4月 1日	大学院医学系研究科寄附講座(周産期新生児乳児発達障害予防学講座)を 寄附講座(周産期新生児発達医学講座)に名称変更
〃	大学院医学系研究科に寄附講座(神経・筋病態学講座)を設置
〃	大学院医学系研究科臨床医学系講座(リウマチ学分野)を 臨床医学系講座(リウマチ膠原病内科学分野)に名称変更
〃	附属病院神経内科を脳神経内科に名称変更
〃	附属病院放射線診断科、放射線治療科、IVR科を放射線科に改組
〃	附属病院臨床研修・キャリア支援センターを臨床研修・キャリア支援部に改組
平成31年 4月 1日	附属病院遺伝子診療科をゲノム診療科に改組
〃	附属病院IT広報センターを広報センターに改組
〃	附属病院入退院サポートセンターと医療福祉支援センターを 総合サポートセンターに改組
令和元年 10月 1日	附属病院痛みセンターを設置



三重大学

大学院  
医学系研究科

- 博士課程
  - 生命医科学専攻
- 博士前期課程・後期課程
  - 看護学専攻
- 修士課程
  - 医科学専攻

- 基盤看護学領域  
看護教育学/実践基礎看護学
- 実践看護学領域  
がん看護学/成人看護学  
母性看護・助産学  
小児看護学/老年看護学
- 広域看護学領域  
精神看護学/地域看護学
- 看護学領域  
看護教育学/実践基礎看護学  
成熟期看護学/母子看護学  
精神・ストレス健康科学  
地域看護学

- 基礎医学系講座  
神経再生医学・細胞情報学  
発生再生医学  
機能プロテオミクス  
幹細胞発生学  
分子生理学
- 修復再生病理学  
腫瘍病理学  
統合薬理学  
分子病態学  
感染症制御医学・分子遺伝学
- 免疫学  
医動物・感染医学  
環境分子医学  
公衆衛生・産業医学  
法医学科学
- 医学医療教育学  
免疫制御学  
成長社会医学  
動物機能ゲノミクス  
遺伝子病態制御学

- 臨床医学系講座  
循環器・腎臓内科学  
血液・腫瘍内科学  
消化器内科学  
呼吸器内科学  
代謝内分泌内科学  
神経病態内科学  
リウマチ膠原病内科学
- 家庭医療学  
精神神経科学  
小児科学  
皮膚科学  
放射線医学  
臨床薬剤学  
肝胆膵・移植外科学
- 消化管・小児外科学  
胸部心臓血管外科学  
乳腺外科学  
産科婦人科学  
脳神経外科学  
運動器外科学・腫瘍集治療学  
腎泌尿器外科学
- 眼科学  
耳鼻咽喉・頭頸部外科学  
口腔・顎顔面外科学  
形成外科学  
麻酔集中治療学  
臨床麻酔科学  
救急災害医学
- 病態解析内科学  
新生児学  
成育医学  
健康増進・予防医療学

- 産学官連携講座  
遺伝子・免疫細胞治療学講座  
臨床創薬研究学講座  
システムズ薬理学講座  
個別化がん免疫治療学講座
- 寄附講座  
認知症医療学講座  
先進医療外科学講座  
先進画像診断学講座  
先進がん治療学講座  
周産期新生児発達医学講座
- 多様な新ニーズに対応する「がん専門医療人材(がんプロフェッショナル)」  
養成プラン放射線腫瘍学講座

- 寄附講座  
亀山地域医療学講座  
三重県総合診療地域医療学講座
- 名張地域医療学講座  
脊髄末梢神経低侵襲外科学講座
- 神経・筋病態学講座  
脊椎集治療学講座
- 循環器・救命救急地域連携学講座  
地域血液内科講座

医学部

- 医学科
- 看護学科
- 附属施設
  - 医学・看護学教育センター

- 総合診療科  
●内科  
総合内科/循環器内科  
血液内科/消化器・肝臓内科  
脳神経内科/呼吸器内科  
腫瘍内科/腎臓内科  
糖尿病・内分泌内科  
感染症内科
- 外科  
一般外科/消化管外科  
肝胆膵・移植外科  
心臓血管外科  
呼吸器外科  
乳腺外科/小児外科  
●整形外科  
●産科婦人科
- 小児科  
●精神科神経科  
●皮膚科  
●腎泌尿器外科  
●眼科  
●耳鼻咽喉・頭頸部外科  
●脳神経外科  
●形成外科
- 放射線科  
●病理診断科  
●ゲノム診療科  
●麻酔科  
●緩和ケア科  
●救急科  
●歯科口腔外科
- 救命救急・総合集中治療センター  
●周産母子センター  
●乳腺センター  
●血管ハートセンター  
●高度生殖医療センター  
●リウマチ・膠原病センター

医学部  
附属病院

- 診療部門
- 中央部門
- 支援部門
  - 医療情報管理部
  - 臨床研修・キャリア支援部  
初期研修センター  
専門研修センター  
看護・メディカルスタッフ研修センター  
三重大学ランチセンター
  - 医療安全管理部  
●感染制御部  
●臨床研究開発センター  
●がんセンター  
●Aiセンター  
●広報センター  
●CCUネットワーク支援センター  
●疫学センター  
●災害医療センター  
●国際医療支援センター  
●総合サポートセンター  
●チーム医療推進センター
  - オーダーメイド医療部
- 薬剤部
- 看護部

- 中央検査部  
●中央手術部  
●臨床麻酔部  
●中央放射線部  
●中央材料部
- 輸血・細胞治療部  
●集中治療部  
●病理部  
●光学医療診療部  
●血液浄化療法部
- リハビリテーション部  
●栄養診療部  
●臨床工学部  
●外来化学療法部  
●肝炎相談支援センター
- 臓器移植センター  
●口腔ケアセンター  
●小児トータルケアセンター  
●認知症センター
- 緩和ケアセンター  
●痛みセンター

医学・病院  
管理部

- 総務課  
総務係/秘書広報係  
企画評価係/人事係/職員係
- 経営管理課  
総括・管理係/医療消耗品係  
病院経営企画係/予算第一係  
予算第二係/施設係  
研究支援室
- 学務課  
学務第一係/学務第二係  
図書係
- 医事課  
医事係/医療安全対策係  
診療管理係/医療情報管理係  
診療支援係/診療案内係  
医療福祉係/収入係

▶ 役職員 Faculty and Administrative Office

(令和元年10月1日現在)

大学院医学系研究科・医学部

医学系研究科長	片山 直之	医学部長	片山 直之
教育研究評議会評議員	村田 真理子	看護学専攻長	林 智子
副研究科長	山崎 英俊	看護学科長	林 智子
副研究科長	堀 浩樹		

大学院医学系研究科 博士課程(生命医科学専攻) / 修士課程(医科学専攻)

〈基礎医学系講座〉

■ 教育研究分野

神経再生医学・細胞情報学	教授	後藤 英仁	免疫学	教授	ガバザ・エステバン
発生再生医学	教授	成田 正明	医動物・感染医学	教授	油田 正夫
機能プロテオミクス	教授	(山崎 英俊)	環境分子医学	教授	村田 真理子
幹細胞発生学	教授	山崎 英俊	公衆衛生・産業医学	教授	笠島 茂
分子生理学	教授	稲垣 昌樹	法医法科学	教授	(吉田 利通)
修復再生病理学	教授	吉田 利通	医学医療教育学	教授	堀 浩樹
腫瘍病理学	教授	渡邊 昌俊	免疫制御学	連携教授	保富 康宏
統合薬理学	教授	西村 有平	成育社会医学		
分子病態学	教授	島岡 要	動物機能ゲノミクス	准教授	(鈴木 昇)
感染症制御医学・分子遺伝学	教授	野阪 哲哉	遺伝子病態制御学	教授	(山田 芳司)

■ 臨床医学系講座

循環器・腎臓内科学	教授	伊藤 正明	脳神経外科学	教授	鈴木 秀謙
血液・腫瘍内科学	教授	片山 直之	運動器外科学・腫瘍集学治療学	教授	湊藤 啓広
消化器内科学	教授	竹井 謙之	腎泌尿器外科学	教授	(新井 直也)
呼吸器内科学	教授	(竹井 謙之)	眼科学	教授	近藤 峰生
代謝内分泌内科学	教授	(竹井 謙之)	耳鼻咽喉・頭頸部外科学	教授	竹内 万彦
神経病態内科学	教授	富本 秀和	口腔・顎顔面外科学	教授	新井 直也
リウマチ膠原病内科学	教授	中島 亜矢子	形成外科学	教授	成島 三長
家庭医療学	教授	(片山 直之)	麻酔集中治療学	教授	丸山 一男
精神神経科学	教授	岡田 元宏	臨床麻酔科学	教授	亀井 政孝
小児科学	教授	平山 雅浩	救急災害医学	教授	今井 寛
皮膚科学	教授	山中 恵一	病態解析内科学	連携教授	白木 克哉
放射線医学	教授	佐久間 肇	〃	連携教授	和田 英夫
臨床薬理学	教授	(西村 有平)	新生児学	連携教授	田中 滋己
肝胆膵・移植外科学	教授	(楠 正人)	成育医学	連携教授	藤澤 隆夫
消化管・小児外科学	教授	楠 正人	〃	連携教授	谷口 清州
胸部心臓血管外科学	教授	高尾 仁二	健康増進・予防医療学	教授	谷井 久志
乳腺外科学	教授	小川 朋子	〃	教授	小林 由直
産科婦人科学	教授	池田 智明			

■ 産学官連携講座

遺伝子・免疫細胞治療学講座		
遺伝子・免疫細胞治療学	教授	影山 慎一
〃	教授	渡辺 隆
臨床創薬研究学講座		
臨床創薬学	教授	(近藤 峰生)

■ 寄附講座

認知症医療学講座		
認知症医療学	教授	(山崎 英俊)
先進医療外科学講座		
先端的外科技術開発学	教授	(楠 正人)
スポーツ整形外科学講座		
スポーツ整形外科学	教授	(湊藤 啓広)
先進画像診断学講座		
先進画像診断学	教授	前田 正幸
先進がん治療学講座		
先進がん治療学	教授	野本 由人

看護学科 博士前期・後期課程(看護学専攻)

基盤看護学	教授	林 智子
〃	教授	今井 奈妙
〃	教授	成田 有吾
実践看護学	教授	辻川 真弓
〃	教授	竹内 佐智恵
〃	教授	新小田 春美

システムズ薬理学講座		
システムズ薬理学	教授	(丸山 一男)
個別化がん免疫治療学講座		
個別化がん免疫治療学	教授	溝口 明
〃	(特任教員・特任教授)	谷 一寿

周産期新生児発達医学講座	教授	加藤 稲子
亀山地域医療学講座	教授	(片山 直之)
三重県総合診療地域医療学講座	教授	(片山 直之)
名張地域医療学講座	教授	(伊藤 正明)
脊髄末梢神経低侵襲外科学講座	教授	水野 正喜
神経・筋病態学講座	教授	佐々木 良元
脊椎集学治療学講座	教授	(湊藤 啓広)
循環器・救命救急地域連携学講座	教授	(伊藤 正明)
地域血液内科講座	教授	(片山 直之)

医学部附属病院

病院長(兼)	伊佐地 秀司	副病院長(兼)	兼兒 敏浩
副病院長(兼)	平山 雅浩	副病院長(兼)	江藤 由美
副病院長(兼)	佐久間 肇	副病院長(兼)	高尾 仁二
副病院長(兼)	近藤 峰生	副病院長(兼)	山田 浩之
副病院長(兼)	鈴木 秀謙		

■ 診療部門

総合診療科長(兼)	伊藤 正明
-----------	-------

内科

総合内科長(兼)	岡本 隆二	呼吸器内科長(兼)	小林 哲
循環器内科長(兼)	土肥 薫	腫瘍内科長(兼)	片山 直之
血液内科長(兼)	片山 直之	腎臓内科長(兼)	村田 智博
消化器・肝臓内科長(兼)	竹井 謙之	糖尿病・内分泌内科長(兼)	矢野 裕
脳神経内科長(兼)	富本 秀和	感染症内科長(兼)	伊藤 正明



## 外科

外科系診療科・主任診療科長(兼)	楠 正人
一般外科長(兼)	伊佐地 秀司
消化管外科長(兼)	楠 正人
肝胆膵・移植外科長(兼)	水野 修吾
整形外科長(兼)	湊藤 啓広
産科婦人科長(兼)	池田 智明
小児科長(兼)	平山 雅浩
精神科神経科長(兼)	岡田 元宏
皮膚科長(兼)	山中 恵一
腎泌尿器外科長(兼)	神田 英輝
眼科長(兼)	近藤 峰生
耳鼻咽喉・頭頸部外科長(兼)	竹内 万彦
脳神経外科長(兼)	鈴木 秀謙
形成外科長(兼)	成島 三長
放射線科長(兼)	佐久間 肇
病理診断科長(兼)	渡邊 昌俊

## ■ 中央部門

中央検査部長(兼)	中谷 中
中央手術部長(兼)	亀井 政孝
臨床麻酔部長(兼)	亀井 政孝
中央放射線部長(兼)	佐久間 肇
中央材料部長(兼)	池田 智明
輸血・細胞治療部長(兼)	大石 晃嗣
集中治療部長(兼)	丸山 一男
病理部長(兼)	渡邊 昌俊
光学医療診療部長(兼)	堀木 紀行
血液浄化療法部長(兼)	片山 鑑
リハビリテーション部長(兼)	湊藤 啓広

## ■ 支援部門

医療情報管理部長(兼)	佐久間 肇
臨床研修・キャリア支援部長(兼)	近藤 峰生
オーダーメイド医療部長(兼)	中谷 中
臨床研究開発センター長(兼)	田丸 智巳
医療安全管理部長(兼)	兼兒 敏浩
感染制御部長(兼)	兼兒 敏浩
がんセンター長(兼)	中瀬 一則
Aiセンター長(兼)	兼兒 敏浩

## ■ 薬剤部

薬剤部長	(池田 智明)
------	---------

心臓血管外科長(兼)	庄村 遊
呼吸器外科長(兼)	高尾 仁二
乳腺外科長(兼)	小川 朋子
小児外科長(兼)	内田 恵一

ゲノム診療科(兼)	中谷 中
麻酔科長(兼)	丸山 一男
緩和ケア科(兼)	丸山 一男
救急科長(兼)	今井 寛
歯科口腔外科長(兼)	新井 直也
救命救急・総合集中治療センター長(兼)	今井 寛
周産母子センター長(兼)	平山 雅浩
乳腺センター長(兼)	小川 朋子
血管ハートセンター長(兼)	伊藤 正明
高度生殖医療センター(兼)	池田 智明
リウマチ・膠原病センター長(兼)	中島 亜矢子

栄養診療部長(兼)	兼兒 敏浩
臨床工学部長(兼)	湊藤 啓広
肝炎相談支援センター長(兼)	竹井 謙之
外来化学療法部長(兼)	水野 聡朗
臓器移植センター長(兼)	水野 修吾
口腔ケアセンター長(兼)	新井 直也
小児トータルケアセンター長(兼)	岩本 彰太郎
認知症センター長(兼)	佐藤 正之
緩和ケアセンター長(兼)	丸山 一男
痛みセンター長(兼)	丸山 一男

広報センター長(兼)	伊藤 正明
CCUネットワーク支援センター長(兼)	伊藤 正明
疫学センター長(兼)	笠島 茂
災害医療センター長(兼)	武田 多一
国際医療支援センター長(兼)	成島 三長
総合サポートセンター(兼)	江藤 由美
チーム医療推進センター(兼)	兼兒 敏浩

## ■ 看護部

看護部長	江藤 由美
------	-------

## ■ 医学・病院管理部

管理部長	山田 浩之
総務課長(兼)	山田 浩之
総務課副課長	小西 孝博
〃	小田 尚美
経営管理課長	伊藤 敦士
経営管理課副課長	長谷川 和也
〃	駒田 雅彦

## ▶ 歴代研究科長等

Chronological Lists Deans and Directors

## ■ 研究科長

鎮西 康雄	平17.4.1～平18.2.9
駒田 美弘	平18.2.10～平22.3.31
登 勉	平22.4.1～平25.3.31

## ■ 医学部長

三上 美樹 (事務取扱)	昭47.5.1～昭48.3.31
	昭48.4.1～昭49.2.9
武田 進	昭49.3.10～昭53.3.9
井澤 道	昭53.3.10～昭55.2.9
武田 進	昭55.2.10～昭59.2.9
横山 實	昭59.2.10～昭61.2.9
伊豆津 公作	昭61.2.10～昭63.2.9
杉山 陽一	昭63.2.10～平3.3.31

## ■ 附属病院長

井澤 道	昭48.10.1～昭52.9.30
宮地 一馬	昭52.10.1～昭56.9.30
三吉 康郎	昭56.10.1～昭60.3.31
竹澤 英郎	昭60.4.1～昭62.3.31
水本 龍二	昭62.4.1～平元.3.31
草川 實	平元.4.1～平5.3.31
鈴木 宏志	平5.4.1～平9.3.31

## ■ 附属動物実験施設長

塩見 俊朗	昭54.6.16～昭60.3.31
坂本 弘	昭60.4.1～平4.3.31
野坂 昭一郎	平4.4.1～平8.3.31

経営管理課副課長	阪井 栄紀
学務課長	加納 深雪
医事課長	土屋 有司
医事課副課長	寺前 利治
〃	谷 仁
医事課専門員	重岡 真実

(令和元年10月1日現在)

緒方 正人	平25.4.1～平29.3.31
片山 直之	平29.4.1～

水本 龍二	平3.4.1～平6.3.31
矢谷 隆一	平6.4.1～平10.2.9
珠玖 洋	平10.2.10～平14.2.9
鎮西 康雄	平14.2.10～平18.2.9
駒田 美弘	平18.2.10～平22.3.31
登 勉	平22.4.1～平25.3.31
緒方 正人	平25.4.1～平29.3.31
片山 直之	平29.4.1～

坂倉 康夫	平9.4.1～平11.3.31
川村 壽一	平11.4.1～平13.3.31
葛原 茂樹	平13.4.1～平17.3.31
内田 淳正	平17.4.1～平21.3.31
竹田 寛	平21.4.1～平25.9.30
伊藤 正明	平25.10.1～令元.9.30
伊佐地 秀司	令元.10.1～

鎮西 康雄	平8.4.1～平12.3.31
栗林 景容	平12.4.1～平15.3.31

職員現員 Regular Numbers of Staff

(令和元年5月1日現在)

区分	大学院医学系研究科						医学部			附属病院 (休職者数を含む)	(休職者数)	
	生命医科学 専攻 (休職者数を含む)	(休職者数)	看護学 専攻 (休職者数を含む)	(休職者数)	寄附 講座等 (休職者数を含む)	(休職者数)	寄附 講座等 (休職者数を含む)	(休職者数)	(休職者数)			
大学教員	教授	32	(1)	11	(1)	5	(0)	2	(0)	8	(0)	
	准教授	23	(0)	8	(1)	1	(0)	1	(0)	20	(0)	
	講師	12	(0)	1	(0)	1	(0)	3	(0)	42	(0)	
	助教	42	(0)	10	(0)	7	(0)	20	(0)	132	(1)	
	計	109	(1)	30	(2)	14	(0)	26	(0)	202	(1)	
医療技術職員										134	(2)	
看護職員										614	(33)	
その他職員										22(0)	106	(2)
合計										201(3)	1,056	(38)

学生 Students

医学部

入学定員及び現員

(令和元年5月1日現在)

学科名	区分	1年次		2年次		3年次		4年次		5年次		6年次		合計	
		男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女
医学科	入学定員	125		125		125		125		125		125		750	
	現員	79	46	92	36	93	38	76	49	93	33	92	40	525	242
看護学科	入学定員	80		80		90 <sup>(3年次編入10名含む)</sup>		90 <sup>(3年次編入10名含む)</sup>						340	
	現員	5	75	5	78	3	80	5	76					18	309

地域別入学人数

(令和元年5月1日現在)

学科名	年度	東海								北海道		東北		関東		中部・北陸		近畿		中国・四国		九州・沖縄		その他		計					
		三重		愛知		岐阜		静岡		男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女		
医学科	平成24年度	34	20	18	12	1	0	2	0	0	0	0	0	0	9	4	2	1	12	6	1	2	1	0	0	0	0	0	80	45	125
	平成25年度	35	21	17	9	2	1	4	0	0	0	0	0	4	5	1	0	14	5	6	0	0	0	0	0	1	83	42	125		
	平成26年度	40	16	7	10	0	1	0	0	0	0	1	0	6	0	1	1	25	10	4	0	3	0	0	0	0	87	38	125		
	平成27年度	43	23	13	5	1	0	4	0	1	0	1	0	3	2	1	0	17	4	3	0	2	0	2	0	2	91	34	125		
	平成28年度	20	30	10	1	2	0	1	0	0	0	1	1	9	0	0	0	30	13	3	0	1	2	1	0	78	47	125			
	平成29年度	31	21	17	8	4	0	1	0	2	0	0	0	5	2	0	0	22	6	2	0	3	0	1	0	88	37	125			
	平成30年度	30	22	20	4	1	0	2	0	0	0	2	0	4	2	1	0	23	6	3	0	1	2	1	1	88	37	125			
平成31年度	34	30	21	8	1	1	0	1	0	0	0	0	1	4	0	0	19	2	2	0	0	0	1	0	79	46	125				
看護学科	平成24年度	1	34	1	27	0	5	0	1	0	0	0	0	0	0	0	2	0	7	0	2	0	0	0	0	0	2	78	80		
	平成25年度	5	44	0	21	0	1	0	1	0	0	0	0	0	1	0	1	0	4	0	1	0	1	0	0	0	5	75	80		
	平成26年度	5	39	2	26	0	2	0	2	1	0	0	0	0	1	0	0	1	0	0	0	1	0	0	0	8	72	80			
	平成27年度	5	41	0	15	1	2	0	4	0	0	0	0	0	0	0	2	0	7	0	1	0	2	0	0	6	74	80			
	平成28年度	3	31	1	22	0	5	0	4	0	2	0	0	0	2	0	1	0	8	0	1	0	0	0	0	4	76	80			
	平成29年度	2	42	0	21	0	7	0	2	0	0	0	0	0	0	0	1	0	4	0	0	0	2	0	0	2	79	81			
	平成30年度	2	39	0	17	0	2	0	1	0	0	0	0	1	0	0	3	1	10	0	3	0	1	0	0	4	76	80			
平成31年度	1	42	0	19	0	5	1	1	0	0	0	0	0	1	0	1	3	4	0	2	0	0	0	0	5	75	80				

卒業生数

(令和元年5月1日現在)

学科名	昭和51年度～ 平成21年度	平成 22年度	平成 23年度	平成 24年度	平成 25年度	平成 26年度	平成 27年度	平成 28年度	平成 29年度	平成 30年度	計
医学科	3,431	94	100	103	109	118	126	122	127	119	4,449

内訳  
 ・三重県立医学専門学校……………277名  
 ・三重大学医学部医学科……………4,449名  
 ・三重県立医科大学……………161名  
 ・三重県立大学医学部……………930名

(令和元年5月1日現在)

学科名	平成13年度～ 平成21年度	平成 22年度	平成 23年度	平成 24年度	平成 25年度	平成 26年度	平成 27年度	平成 28年度	平成 29年度	平成 30年度	計
看護学科	796	89	86	85	94	87	79	81	79	77	1,553

内訳  
 ・三重大学医療技術短期大学部……………715名  
 ・三重大学医学部看護学科……………1,553名

大学院 医学系研究科

入学定員及び現員

(令和元年5月1日現在)

区分		収容定員		現員				合計
		入学定員	総定員	1年	2年	3年	4年	
修士・博士 前期課程	医科学	12	24	8	10			18
	看護学	11	22	<4> 5	<13> 17			<17> 22
博士後期課程	看護学	3	9	3	4	6		13
博士課程	生命医科学	45	180	(27) 52	(28) 37	(36) 47	(34) 55	(125) 191
合計		71	235	<4>(27) 68	<13>(28) 68	(36) 53	(34) 55	<17>(125) 244

( )内は、昼夜開講制による学生を内数で示す / < >内は、社会人特別選抜による学生を内数で示す

学位(博士(医学))授与数

(令和元年5月1日現在)

旧制学位	新制学位		合計
三重県立医科大学	博士課程	論文博士	
333	1,505	1,094	2,932

## ▶ 図書及び雑誌 Books and Journals

区分	単行図書(冊)	製本雑誌(冊)	合計(冊)
和書	23,067	11,042	34,109
洋書	2,703	22,045	24,748
計	25,770	33,087	58,857

(平成31年3月31日現在)

区分	総種類数(種)	継続購入種類数(種)
国内雑誌	622	97
外国雑誌	1,108	235
計	1,730	332

## ▶ 国際交流 International Exchange

### ■ 国際交流協定締結大学等

(平成31年3月31日現在)

締結大学名	国名	協定締結年月日
コンケン大学医学部	タイ	平成12年7月17日 (大学間協定)
マーサー大学医学部	アメリカ合衆国	平成10年10月29日
ウェイン州立大学医学部	アメリカ合衆国	平成14年3月18日
上海交通大学医学院	中国	平成16年8月11日
ロストック大学医学部	ドイツ	平成16年10月29日
廣西医科大学	中国	平成18年6月6日
ザンビア大学医学部	ザンビア	平成19年2月7日
ムヒンビリ健康科学大学医学部	タンザニア	平成19年10月19日
ジャルジャ大学医学部	アラブ首長国連邦	平成22年10月4日 (大学間協定)
イエーテボリ大学健康科学部	スウェーデン	平成21年1月14日
ニューメキシコ大学医学部	アメリカ合衆国	平成21年6月24日
ガーナ大学医学部	ガーナ	平成22年2月18日
ベルビア大学医学部	イタリア	平成22年2月22日
蘭州大学第二臨床医学院	中国	平成23年3月17日

締結大学名	国名	協定締結年月日
ラオス健康科学大学	ラオス	平成23年9月26日
アムリタ大学医学部	インド	平成24年1月30日
タマサート大学医学部	タイ	平成24年6月5日
カーディフ大学	英国	平成23年7月15日 (大学間協定)
ヤンゴン第一医科大学	ミャンマー	平成24年12月17日
フリンダース大学医学部	オーストラリア	平成26年2月27日
フライブルグ応用科学 カトリック大学	ドイツ	平成26年6月11日
ワシントン大学医学部	アメリカ合衆国	平成26年8月25日
マンダレー医科大学	ミャンマー	平成26年11月5日
フィリピン大学 マニラ校保健学部	フィリピン	平成27年7月23日
BSMMU大学	バングラデシュ	平成27年7月27日
ヤンゴン第二医科大学	ミャンマー	平成27年10月21日
ベルゲン大学医歯学部	ノルウェー	平成28年1月21日

### ■ 外国人留学生数

(令和元年5月1日現在)

区分	学部		大学院生		研究生		合計
	国費	私費	国費	私費	国費	私費	
中国			0	4	0	0	4
ラオス			1	0	0	0	1
韓国			0	0	0	0	0
ミャンマー			5	0	0	0	5
インドネシア			2	0	0	0	2
ガーナ			7	0	0	0	7
バングラデシュ			2	0	0	0	2
タイ			2	0	0	0	2
ネパール			0	1	0	0	1
エジプト			1	1	0	0	2
ザンビア			2	1	0	0	3
ブラジル			0	1	0	0	1
合計	0	0	22	8	0	0	30

## ▶ 解剖体数 Number of Autopsies

### ■ 系統解剖

(平成31年3月31日現在)

区分	平成21年度	平成22年度	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	計
解剖体数	39	29	33	31	31	31	31	31	31	33	320
収集体数	34	41	44	34	49	65	42	47	47	49	452

### ■ 病理解剖

区分	平成21年度	平成22年度	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	計
解剖体数	23	14	24	20	20	19	16	18	12	23	189

## ▶ 科学研究費助成事業採択状況 Grants-in-Aid for Scientific Research

(平成30年度実績)

研究種目		件数	金額(千円)	計(件)	計(金額/千円)
特定領域研究	医学部				
	附属病院				
新学術領域研究	医学部				
	附属病院				
基盤研究(A)	医学部	2	18,900		
	附属病院			2	18,900
基盤研究(B) (基盤研究(B)海外含む)	医学部	11	37,700		
	附属病院			11	37,700
基盤研究(C)	医学部	74	77,900		
	附属病院	40	46,900	114	124,800
挑戦的研究(萌芽) (挑戦的萌芽研究含む)	医学部	10	15,600		
	附属病院			10	15,600
若手研究 (若手研究(B)含む)	医学部	12	11,200		
	附属病院	17	19,500	29	30,700
研究活動スタート支援	医学部	1	1,000		
	附属病院	1	1,000	2	2,000
研究成果公開促進費	医学部				
	附属病院				
特別研究員奨励費	医学部	3	2,700		
	附属病院			3	2,700
奨励研究	医学部				
	附属病院				
直接経費のみ 計	医学部	113	165,000		
	附属病院	58	67,400	171	232,400

## ▶ 外部資金受入状況 Origin and Division of Off-campus Funds

(平成30年度実績)

区分		件数	金額(千円)	計(件)	計(金額/千円)
奨学寄附金	医学部	984	583,927		
	附属病院	63	40,556	1,047	624,483
受託研究	医学部	53	476,580		
	附属病院	53	103,058	106	579,638
共同研究	医学部	47	275,215		
	附属病院	9	525	56	275,740
受託事業	医学部	4	15,588		
	附属病院	5	48,974	9	64,562
計	医学部	1,088	1,351,310		
	附属病院	130	193,113	1,218	1,544,423

## ▶ 病院各階案内図 Guide to Hospital Floors

### ■ 病棟

(令和元年5月1日現在)

	北棟	南棟	
12F	レストラン・三医会ホール		計
11F	血液内科/眼科/腫瘍内科/皮膚科		97床
10F	循環器内科/腎臓内科/総合内科	糖尿病・内分泌内科 リウマチ・膠原病センター 心臓血管外科	98床
9F	消化管外科/消化器・肝臓内科/肝胆膵・移植外科		98床
8F	整形外科/形成外科		99床
7F	産科婦人科/乳腺外科	周産母子センター	100床
6F	腎泌尿器外科 歯科口腔外科	小児科 小児外科	93床
5F	耳鼻咽喉・頭頸部外科	心臓血管外科(小児) 細胞移植療法部	76床
3F	中央手術部/臨床麻酔部/中央材料部/輸血部/臨床工学部/病理部/中央検査部		
2F	総合集中治療センター 血液浄化療法部/光学医療診療部/中央放射線部		24床
1F	中央材料部/薬剤部/医療材料渡し口 救命救急センター救急外科/栄養診療部/時間外受付・防災センター	購買/理容室/美容室	合計 685床

### ■ 外来・診療棟

5F	大ホール	臨床研修キャリア支援部 院内学級	がんセンター 患者図書館
4F	皮膚科 歯科口腔外科・口腔ケアセンター	精神科神経科	脳波検査室 肝炎相談支援センター
3F	総合診療科/中央採血室 リウマチ・膠原病センター/循環器内科 神経・筋電図室/消化器・肝臓内科/エコー室 心電図室/緩和ケア科/総合内科/感染症内科	呼吸器内科/呼吸器機能検査室 腎臓内科/運動機能検査室 血液内科 遺伝子カウンセリング室	腫瘍内科/外来化学療法部 糖尿病・内分泌内科 血管ハートセンター/腎泌尿器外科 オーダーメイド医療部
2F	一般外科/小児外科/整形外科/眼科 中央放射線部(X線撮影・透視・CT・MRI) 麻酔科(ペインクリニック・統合医療・鍼灸・漢方・慢性疼痛心理外来)	心臓血管外科/産科婦人科 消化管外科/肝胆膵・移植外科 小児科/高度生殖医療センター	脳神経外科/脳神経内科 呼吸器外科/乳腺センター 耳鼻咽喉・頭頸部外科 形成外科/放射線科
1F	総合サポートセンター/臨床研究開発センター 放射線治療/リハビリテーション部/ローソン	臓器移植センター 栄養診療部/ドトール	各種受付/リボズハウス ATMコーナー

## ▶ 附属病院の業務状況 Patient Service of University Hospital

### ■ 病床数及び患者数

(平成30年度実績)

診療科	病床数	診療状況			
		入院		外来	
		患者延数 (人)	1日平均患者数 (人)	患者延数 (人)	1日平均患者数 (人)
血液内科	0	8,946	24.5	8,484	34.8
腫瘍内科	0	5,000	13.7	5,228	21.4
皮膚科	0	7,097	19.4	16,139	66.1
眼科	0	7,188	19.7	29,400	120.5
心臓血管外科・(小児循環器)	0	4,751	13.0	3,165	13.0
呼吸器外科	0	2,379	6.5	2,554	10.5
呼吸器内科	0	7,472	20.5	11,436	46.9
糖尿病・内分泌内科	0	1,773	4.9	14,084	57.7
循環器内科	0	11,027	30.2	16,708	68.5
腎臓内科	0	3,312	9.1	7,906	32.4
総合内科	0	575	1.6	555	2.3
肝胆膵・移植外科	0	13,217	36.2	7,288	29.9
消化管外科	0	10,246	28.1	9,860	40.4
小児外科	0	1,766	4.8	2,372	9.7
消化器・肝臓内科	0	12,131	33.2	20,609	84.5
脳神経外科	0	8,488	23.3	8,785	36.0
脳神経内科	0	6,970	19.1	10,484	43.0
整形外科	0	12,537	34.3	15,919	65.2
形成外科	0	1,817	5.0	3,220	13.2
放射線科	0	4,099	11.2	14,444	59.2
産科婦人科	0	12,171	33.3	16,871	69.1
乳腺外科	0	3,407	9.3	14,038	57.5
小児科・(小児循環器)	0	9,423	25.8	6,289	25.8
腎泌尿器外科	0	9,796	26.8	19,433	79.6
歯科口腔外科	0	4,176	11.4	20,948	85.9
精神科神経科	30	7,189	19.7	16,945	69.4
耳鼻咽喉・頭頸部外科	0	12,945	35.5	15,772	64.6
麻酔科	0	0	0.0	6,636	27.2
総合診療科	0	0	0.0	2,880	11.8
総合集中治療センター(救急科)	0	4,554	12.5	836	3.4
周産母子センター	0	16,356	44.8	0	0.0
リウマチ膠原病センター	0	994	2.7	3,295	13.5
緩和ケア科	0	0	0.0	21	0.1
感染症内科	0	0	0.0	31	0.1
高度生殖医療センター	0	0	0.0	7,951	32.6
遺伝子診療科	0	0	0.0	109	0.4
共通病床	655				
合計	685	211,802	580.3	340,695	1,396.3

※総合集中治療センター(救急科)患者延数は救急科患者数のみを計上

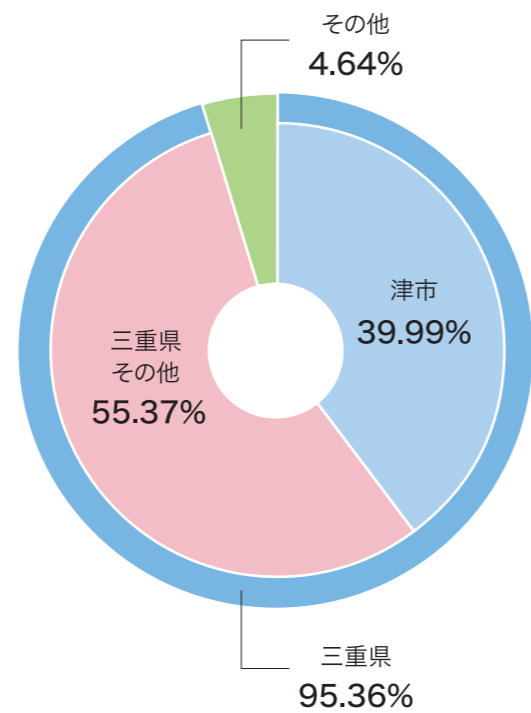
※外来の患者延数および一日平均患者数は、外来日数244日で計上 ※肝胆膵・移植外科に一般外科患者数を含む

※平成30年度より一般病棟は共通病床化したため診療科固有の病床は保有しない

地域別患者数

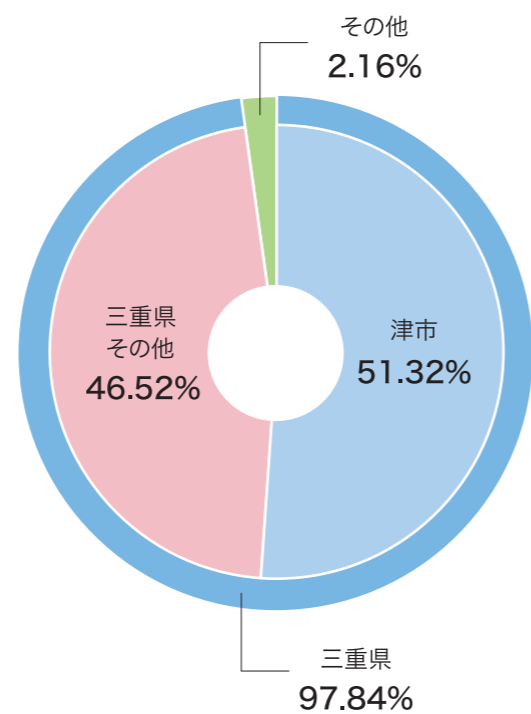
■ 入院患者数 (平成30年度実績)

区分	入院延数(人)	%
三重県	201,974	95.36%
三重県津市	84,706	39.99%
三重県その他	117,268	55.37%
愛知県	3,060	1.44%
岐阜県	1,393	0.66%
静岡県	123	0.06%
東北	211	0.10%
関東	794	0.37%
北陸・甲信越	408	0.19%
近畿	3,558	1.68%
中国・四国	211	0.10%
九州	68	0.03%
その他(沖縄)	2	0.00%
合計	211,802	100%



■ 外来患者数 (平成30年度実績)

区分	外来延数(人)	%
三重県	348,180	97.84%
三重県津市	182,638	51.32%
三重県その他	165,542	46.52%
愛知県	2,711	0.76%
岐阜県	796	0.22%
静岡県	117	0.03%
東北	55	0.02%
関東	629	0.18%
北陸・甲信越	125	0.04%
近畿	2,993	0.84%
中国・四国	176	0.05%
九州	67	0.02%
その他(沖縄)	36	0.01%
不明	0	0.00%
合計	355,885	100%



▶ 医療行為統計 Clinical Activities

■ 手術及び麻酔件数 (平成30年度実績)

診療科	手術件数								麻酔件数		
	0~999点	1,000~2,999点	3,000~4,999点	5,000~9,999点	10,000~14,999点	15,000~19,999点	20,000点以上	計	0~999点	1,000点以上	計
脳神経内科	24	0	0	0	0	0	0	24	234	0	234
整形外科	7	15	29	83	68	130	367	699	470	868	1,338
産科婦人科	25	121	78	19	25	106	850	1,224	2,323	1,354	3,677
眼科	83	218	47	77	1,018	266	483	2,192	198	154	352
泌尿器外科	7	57	276	51	195	110	269	965	878	497	1,375
小児科	60	24	0	0	0	7	34	125	503	82	585
耳鼻咽喉・頭頸部外科	146	159	134	72	29	31	365	936	70	519	589
皮膚科	11	184	131	28	236	4	23	617	33	76	109
精神科神経科	4	0	0	0	0	0	0	4	1	0	1
歯科口腔外科	889	244	22	11	24	10	61	1,261	23	298	321
麻酔科	0	0	0	0	0	0	0	0	745	2	747
脳神経外科	15	22	4	4	69	12	321	447	58	458	516
総合内科	4	3	139	61	32	30	711	980	240	41	281
循環器内科	1	2	126	429	482	134	181	1,355	2	0	2
消化器・肝臓内科	0	0	0	3	4	5	0	12	0	0	0
呼吸器内科	0	0	0	0	1	13	0	14	4	0	4
腎臓内科	3	11	1	0	0	10	0	25	0	10	10
血液内科	0	26	0	0	4	55	0	85	0	0	0
腫瘍内科	0	0	0	1	2	0	0	3	0	0	0
糖尿病・内分泌内科	0	0	0	0	0	0	0	0	0	2	2
緩和ケア科	0	1	0	0	0	0	0	1	0	0	0
一般外科	25	24	15	176	67	87	334	728	1,159	676	1,835
消化管外科	8	1	3	72	12	45	307	448	376	391	767
肝胆膵・移植外科	5	33	0	254	8	36	337	673	2	372	374
乳腺外科	3	20	18	88	21	17	68	235	385	304	689
小児外科	22	71	69	56	26	19	111	374	61	135	196
形成外科	5	2	75	3	5	4	359	453	87	679	766
心臓血管外科	3	1	1	2	1	6	229	243	529	252	781
呼吸器外科	0	0	0	0	0	0	1	1	1	0	1
放射線科	5	12	6	0	82	197	219	521	48	27	75
救急科	78	118	233	15	37	53	52	586	62	148	210
高度生殖医療センター	1	10	32	0	0	0	0	43	0	0	0
リウマチ・膠原病センター	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	1
総計	1,434	1,379	1,439	1,505	2,448	1,387	5,682	15,274	8,493	7,345	15,838

■ 分娩数 (平成30年度実績)

	成熟児	未熟児	計
正常分娩	212	40	252
異常分娩	236	27	263
計	448	67	515

■ 臨床検査件数(中央検査部・輸血部・細胞治療部・病理部)

(平成30年度実績)

区分	入院(件)	外来(件)	計(件)
一般検査	28,655	104,973	133,628
血液学的検査	263,945	309,113	573,058
生化学的検査	1,133,704	1,879,217	3,012,921
免疫学的検査	83,986	153,292	237,278
微生物学的検査	45,110	13,978	59,088
病理学的検査	12,880	12,263	25,143
その他の検体検査	12,821	17,113	29,934
生理機能検査	12,037	32,362	44,399
採血・採液等	69,988	80,446	150,434
計	1,663,126	2,602,757	4,265,883

■ X線撮影、透視、CT及びMRI検査人数

(平成30年度実績)

区分	入院(件)	外来(件)	計(件)	
一般撮影(単純)	35,613	41,275	76,888	
一般撮影(造影)	1,960	804	2,764	
X線CT検査	9,062	20,445	29,507	
MRI検査	3,044	9,406	12,450	
PET-CT	384	822	1,206	
放射線治療	体外照射	9,546	8,165	17,711
	腔内照射	70	18	88
計	59,679	80,935	140,614	

■ 処方枚数、件数及び薬剤数

(平成30年度実績)

区分	枚数(枚)	件数(件)	薬剤数(剤)	
入院	136,505	261,337	1,556,255	
外来	院内	3,711	9,830	98,063
	院外	165,596		
計	305,812	271,167	1,654,318	

▶ 医療機関等の指定状況等

Services related Medical Care Legislations and Dates of Approval

(令和元年5月1日現在)

医療機関の承認等

昭和48.10.1	医療法による病院開設認可
〃	総合病院の名称使用承認
〃	健康保険法による保険医療機関
〃	国民健康保険法による保険医療機関
昭和57.4.27	消防法による救急医療機関承認
昭和63.3.29	臨床修練指定病院(外国医師・外国歯科医師)
6.1	健康保険法による特定承認保険医療機関
〃	国民健康保険法による特定承認保険医療機関
平成6.11.1	特定機能病院の名称承認

(令和元年5月1日現在)

医療機関の承認等

昭和48.10.1	生活保護法による医療
〃	結核予防法による医療
〃	労働者災害補償保険法による医療
〃	老人福祉法による医療
〃	母子保健法による医療(養育医療、三歳児精密検診)
〃	児童福祉法による医療(育成医療)
〃	精神保健法による医療
〃	身体障害者福祉法による医療(更正医療)
〃	戦傷病者特別援護法による医療(更正医療)
〃	特定疾患治療研究事業(スモン、ベーチェット病、重症筋無力症、全身性エリテマトーデス、多発性硬化症、再生不良性貧血)
昭和48.12.7	船員法による医療
昭和49.2.5	原爆医療法による医療
4.1	小児慢性特定疾患治療研究事業(悪性新生物、慢性腎疾患、ぜんそく、先天性代謝異常、血友病等血痕疾患)
9.1	公害健康被害補償法による医療
10.1	特定疾患治療研究事業(サルコイドーシス、筋萎縮性側索硬化症、強皮症、皮膚筋炎及び多発性筋炎、特発性血小板減少性紫斑病)
〃	小児慢性特定疾患治療研究事業(慢性心疾患、内分泌疾患、膠原病、糖尿病)
昭和50.8.1	地方公務員災害補償法による医療
〃	国家公務員災害補償法による医療
10.1	特定疾患治療研究事業(結節性動脈周囲炎、潰瘍性大腸炎、大動脈炎症候群、ビュルガー病、天痘瘡)
昭和51.10.1	特定疾患治療研究事業(脊髄小脳変性症、クローン病、難治性肝炎のうち劇症肝炎)
昭和52.10.1	特定疾患治療研究事業(悪性関節リウマチ)
昭和53.10.1	特定疾患治療研究事業(パーキンソン病)
昭和54.10.1	特定疾患治療研究事業(アミロイドーシス)
昭和55.4.1	母子保健法による医療(妊娠・乳児一般健診)
12.1	特定疾患治療研究事業(後縦靭帯骨化症)
昭和56.10.1	特定疾患治療研究事業(ハンチントン病)
昭和57.10.1	特定疾患治療研究事業(モヤモヤ病(ウイルス動脈輪閉塞症))

## 医療機関の承認等

昭和59.	1. 1	特定疾患治療研究事業(ウェグナー肉芽腫症)
昭和60.	1. 1	特定疾患治療研究事業(特発性拡張型(うっ血型)心筋症)
	11. 7	労働者災害補償保険法による医療(アフターケア)
昭和61.	1. 1	特定疾患治療研究事業(シャイ・ドレーガ症候群)
昭和62.	1. 1	特定疾患治療研究事業(表皮水痘症(接合部型及び栄養障害型))
昭和63.	1. 1	特定疾患治療研究事業(膿瘍性乾癬)
昭和64.	1. 1	特定疾患治療研究事業(広範脊柱管狭窄症)
平成 元.	10. 1	先天性血液凝固因子障害治療研究事業
平成 2.	1. 1	特定疾患治療研究事業(原発性胆汁性肝硬変)
	4. 1	小児慢性特定疾患治療研究事業(神経筋疾患)
平成 3.	1. 1	特定疾患治療研究事業(重症急性肺炎)
平成 4.	1. 1	特定疾患治療研究事業(特発性大腿骨頭壊死症)
平成 5.	1. 1	特定疾患治療研究事業(混合性結合組織病)
平成 6.	1. 1	特定疾患治療研究事業(原発性免疫不全症候群)
平成 7.	1. 1	特定疾患治療研究事業(特発性間質性肺炎)
平成 8.	1. 1	特定疾患治療研究事業(網膜色素変性症)
	2.21	エイズ治療拠点病院
平成 9.	1. 1	特定疾患治療研究事業(プリオン病)
	1. 6	地域災害拠点病院の指定
平成10.	1. 1	特定疾患治療研究事業(原発性肺高血圧症)
	4. 1	身体障害者福祉法による医療(更生医療)(ヒト免疫不全ウイルスによる免疫機能障害)
	5. 1	特定疾患治療研究事業(神経線維腫症Ⅰ型/神経線維腫症Ⅱ型)
	12. 1	特定疾患治療研究事業(亜急性硬化性全脳炎)
	//	特定疾患治療研究事業(バット・キアリ(Budd-Chiari)症候群)
	//	特定疾患治療研究事業(特発性慢性肺血栓塞栓症(肺高血圧型))
平成11.	4. 1	特定疾患治療研究事業(ライソゾーム病)
平成12.	4. 1	特定疾患治療研究事業(副腎白質ジストロフィー)
	10. 1	身体障害者福祉法による医療(更正医療)(小腸に関する医療)
平成19.	1.31	がん診療連携拠点病院の指定
平成20.	12.15	肝疾患診療連携拠点病院の指定
平成25.	2. 8	小児がん拠点病院の指定
平成30.	3.30	三重県アレルギー疾患医療拠点病院
	4. 1	がんゲノム医療連携病院

(令和元年5月1日現在)

## 基本診療の施設基準

- 地域歯科診療支援病院歯科初診料
- 歯科外来診療環境体制加算
- 歯科診療特別対応連携加算
- 特定機能病院入院基本料
- 臨床研修病院入院診療加算
- 救急医療管理加算
- 超急性期脳卒中加算
- 妊産婦緊急搬送入院加算
- 診療録管理体制加算1
- 医師事務作業補助体制加算1
- 急性期看護補助体制加算
- 看護職員夜間配置加算
- 超重症児(者)入院診療加算・準超重症児(者)入院診療加算
- 看護補助加算1
- 療養環境加算
- 重症者等療養環境特別加算

## 基本診療の施設基準

- 無菌治療室管理加算1・2
- 緩和ケア診療加算
- 精神科身体合併症管理加算
- 摂食障害入院医療管理加算
- がん拠点加算1イ、2
- 栄養サポートチーム加算
- 医療安全対策加算1
- 感染防止対策加算1
- 感染防止対策加算1(抗菌薬適正使用支援加算)
- 患者サポート体制充実加算
- 褥瘡ハイリスク患者ケア加算
- ハイリスク妊婦管理加算
- ハイリスク分娩管理加算
- 呼吸ケアチーム加算
- 病棟薬剤業務実施加算1・2
- データ提出加算2
- 退院支援加算2・3
- 精神疾患診療体制加算1・2
- 救命救急入院料4
- 特定集中治療室管理料1
- 新生児特定集中治療室管理料1
- 総合周産期特定集中治療室管理料
- 小児入院医療管理料2

(令和元年5月1日現在)

## 特掲診療科の施設基準

- 高度難聴指導管理料
- 糖尿病合併症管理料
- がん性疼痛緩和指導管理料
- がん患者指導管理料イ・ロ・ハ
- 外来緩和ケア管理料
- 移植後患者指導管理料(臓器移植後)
- 移植後患者指導管理料(造血幹細胞移植後)
- 糖尿病透析予防指導管理料
- 乳腺炎重症化予防・ケア指導料
- 慢性維持透析患者外来医学管理料
- 外来リハビリテーション診療料
- 外来放射線照射診療料
- 開放型病院共同指導料
- ハイリスク妊産婦共同管理料(Ⅰ)
- がん治療連携計画策定料
- がん治療連携管理料
- 認知症専門診断管理料
- 肝炎インターフェロン治療計画料
- 薬剤管理指導料
- 地域連携診療計画加算
- 診療情報提供料(Ⅰ) 検査・画像情報提供加算
- 診療情報提供料(Ⅰ) 電子的診療情報提供料
- 医療機器安全管理料1・2
- 在宅血液透析指導管理料
- 在宅腫瘍治療電場療法指導管理料
- 持続血糖測定器加算
- 骨髄微小残存病変量
- 造血器腫瘍遺伝子検査
- 遺伝学的検査
- 抗HLA抗体(スクリーニング検査)及び抗HLA抗体(抗体特異性同定検査)
- HPV核酸検出
- HPV核酸検出(簡易ジェノタイプ判定)
- 検体検査管理加算(Ⅰ)(Ⅳ)
- 国際標準検査管理加算
- 遺伝カウンセリング加算
- 心臓カテーテル法による諸検査の血管内視鏡検査加算
- 植込型心電図検査
- 時間内歩行試験
- シャトルウォーキングテスト
- 胎児心エコー法
- ヘッドアップティルト試験
- 人工臓器検査
- 皮下連続式グルコース測定
- 長期継続頭蓋内脳波検査
- 脳波検査判断料1
- 神経学的検査
- 補聴器適合検査
- ロービジョン検査判断料
- コンタクトレンズ検査料1
- 内服・点滴誘発試験
- センチネルリンパ節生検(乳がんに係るものに限る。)併用法・単独法
- CT透視下気管支鏡検査加算
- ポジトロン断層撮影又はポジトロン断層・コンピューター断層複合撮影
- 冠動脈CT撮影加算
- 外傷全身CT加算
- 大腸CT撮影加算
- CT撮影及びMRI撮影
- 心臓MRI撮影加算
- 抗悪性腫瘍剤処方管理加算

特掲診療科の施設基準

- 無菌製剤処理料
- 外来化学療法加算1
- 心大血管疾患リハビリテーション料(1)
- 脳血管疾患等リハビリテーション料(1)  
(廃用症候群リハビリテーション(1))
- 運動器リハビリテーション料(1)
- 呼吸器リハビリテーション料(1)
- がん患者リハビリテーション料
- 認知療法・認知行動療法
- 精神科ショート・ケア及びデイ・ケア「小規模なもの」
- 抗精神病特定薬剤治療指導管理料  
(治療抵抗性統合失調症治療指導管理料に限る。)
- 医療保護入院等診療料
- エタノールの局所注入(甲状腺・副甲状腺に対するもの)
- 人工腎臓
- 透析液水質確保加算
- 人工腎臓の導入期加算2(腎代替療法実績加算)
- 一酸化窒素吸入療法
- 手術時歯根面レーザー応用加算
- 広範囲顎骨支持型装置埋入手術
- 皮膚悪性腫瘍切除術(悪性黒色腫センチネルリンパ節加算を算定する場合に限る。)
- 皮膚移植術(死体)
- 人工乳房及び組織拡張器→一次再建→二次再建
- ゲル充填人工乳房を用いた乳房再建術  
→一次一次的再建→一次二次的及び二次再建
- 移植術(軟骨移植術を含む。)(同種骨移植(非生体)  
(同種骨移植(特殊なものに限る。))
- 骨移植術(軟骨移植術を含む。)(自家培養軟骨移植術に限る。)
- 後縦靭帯骨化症手術
- 腫瘍脊椎骨全摘術
- 脳刺激装置植込術(頭蓋内電極植込術を含む。))及び  
脳刺激装置交換術、脊髄刺激装置植込術及び  
脊髄刺激装置交換術
- 仙骨神経刺激装置植込術及び仙骨神経刺激装置交換術
- 羊膜移植術
- 緑内障手術(緑内障治療用インプラント挿入術(プレートの  
あるもの))
- 緑内障手術(水晶体再建術併用眼内ドレーン挿入術)
- 網膜再建術
- 人工内耳植込術
- 植込骨導補聴器の植え込み及び接合子付骨導端子又は  
骨導端子の交換
- 内視鏡下鼻・副鼻腔手術V(拡大副鼻腔手術)
- 上顎骨形成術(骨移動を伴う場合に限る。)(歯科診療に  
係るものに限る。)、下顎骨形成術(骨移動を伴う場合  
に限る。)(歯科診療に係るものに限る。)
- 乳腺悪性腫瘍手術(乳頭乳輪温存乳房切除(腋窩郭清を  
伴わないもの)及び乳頭乳輪切除術(腋窩郭清を伴うもの))
- 乳がんセンチネルリンパ節加算1・2
- 肺悪性腫瘍手術(壁側・臓側胸膜全切除(横隔膜、心膜合併  
症切除を伴うもの))
- 胸腔鏡下食道悪性腫瘍手術(内視鏡手術用支援機器を  
用いる場合)
- 食道縫合術(穿孔、損傷)(内視鏡によるもの)、内視鏡下胃、  
十二指腸穿孔瘻孔閉鎖術、胃瘻閉鎖術(内視鏡によるもの)、  
小腸瘻閉鎖術(内視鏡によるもの)、結腸瘻閉鎖術(内視鏡に  
よるもの)、腎(腎盂)腸瘻閉鎖術(内視鏡によるもの)、尿管  
腸瘻閉鎖術(内視鏡によるもの)、膀胱腸瘻閉鎖術(内視鏡に  
よるもの)、陰腸瘻閉鎖術(内視鏡によるもの)
- 経皮的冠動脈形成術
- 経皮的冠動脈形成術(特殊カテーテルによるもの)
- 経皮的冠動脈ステント留置術
- 胸腔鏡下弁形成術・胸腔鏡下弁置換術
- 経カテーテル大動脈弁置換術
- 経皮的中隔心筋焼灼術
- ペースメーカー移植術及びペースメーカー交換術
- ペースメーカー移植術(リードレスペースメーカー)
- 植込型心電図記録計移植術及び植型心電図記録計摘出術
- 遼心室ペースメーカー移植術及び両心室ペースメーカー交換術
- 植込型除細動器移植術、植込型除細動器交換術及び経静脈  
電極除去術(レーザーシースを用いるもの)
- 両室ペーシング機能付き植込型除細動器移植術及び両室  
ペーシング機能付き植込型除細動器交換術
- 大動脈バルーンパンピング法(IABP法)
- 経皮的循環補助法(ポンプカテーテルを用いたもの)
- 補助人工心臓
- 経皮的大動脈遮断術
- ダメージコントロール手術
- 腹腔鏡下胃切除術(内視鏡手術用支援機器を用いる場合)
- 腹腔鏡下噴門側胃切除術(内視鏡手術用支援機器を用いる  
場合)
- 腹腔鏡下胃全摘術(内視鏡手術用支援機器を用いる場合)
- 胃瘻造設術(経皮的内視鏡下胃瘻造設術、腹腔鏡下胃瘻造設  
術を含む)
- 胆管悪性腫瘍手術(臍頭十二指腸切除及び肝切除(葉以上)  
を伴うものに限る。)
- 腹腔鏡下肝切除術
- 腹腔鏡下肝切除術(亜区域切除、1区域切除(外側区域  
切除を除く。)、2区域切除及び3区域切除以上のもの)
- 生体部分肝移植術
- 同種死体肝移植術

特掲診療科の施設基準

- 腹腔鏡下腭腫瘍摘出術
- 腹腔鏡下腭体尾部腫瘍切除術
- 早期悪性腫瘍大腸粘膜下層剥離術
- 腹腔鏡下小切開副腎摘出術
- 腹腔鏡下小切開腎部分切除術、腹腔鏡下小切開腎摘出術、  
腹腔鏡下小切開腎(尿管)悪性腫瘍手術
- 腎腫瘍凝固・焼灼術(冷凍凝固によるもの)
- 腹腔鏡下腎悪性腫瘍手術(内視鏡手術用支援機器を  
用いるもの)
- 同種死体腎移植術
- 生体腎移植術
- 膀胱水圧拡張術
- 腹腔鏡下膀胱悪性腫瘍手術
- 人工尿道括約筋植込・置換術
- 腹腔鏡下小切開前立腺悪性腫瘍手術
- 腹腔鏡下前立腺悪性腫瘍手術(内視鏡手術用支援機器を  
用いるもの)
- 腹腔鏡下仙骨腔固定術
- 腹腔鏡下腔式子宮全摘術(内視鏡手術用支援機器を用いる  
場合)
- 腹腔鏡下子宮悪性腫瘍術(子宮体がんに限る。)
- 腹腔鏡下子宮悪性腫瘍術(子宮頸がんに限る。)
- 腹腔鏡下子宮悪性腫瘍手術(子宮体がんに対して内視鏡  
手術用支援機器を用いる場合)
- 胎児胸腔・羊水腔シャント術
- 輸血管管理料I・II
- 貯血式自己血輸血管管理体加算
- 自己生体組織接着剤作成術
- 人工肛門・人工膀胱造設術前処置加算
- 麻酔管理料(I)(II)
- 放射線治療専任加算
- 外来放射線治療加算
- クラウン・ブリッジ維持管理料
- 高エネルギー放射線治療
- 強度変調放射線治療(IMRT)
- 1回線量増加加算(全乳房照射)
- 画像誘導放射線治療加算(IGRT)
- 体外照射呼吸性移動対策加算
- 1回線量増加加算(前立腺照射)
- 定位放射線治療
- 定位放射線治療呼吸移動対策加算
- 画像誘導密封小線源治療加算
- CAD/CAM冠
- 歯科矯正診断料
- 保険医療機関間の連携におけるデジタル病理画像による  
術中迅速病理組織標本作製
- 保険医療機関間の連携におけるデジタル病理画像による  
迅速細胞診
- デジタル病理画像による病理診断
- 病理診断管理加算2
- 悪性腫瘍病理組織標本加算
- 口腔病理診断管理加算(歯科診療に係るものに限る。)
- 画像診断管理加算1・2
- 遠隔画像診断
- 歯科疾患管理料の注11に規定する総合医療管理加算及び  
歯科治療時医療管理料
- 歯科口腔リハビリテーション料2
- 歯周組織再生誘導手術
- う蝕歯無痛の高洞形成加算
- 歯科技工加算
- 医科点数表第2章第10部手術の通則5及び6(歯科点数表  
第2章第9部の通則4を含む。)に掲げる手術

(令和元年5月1日現在)

先進医療A(第2項先進医療技術)

平成25. 3. 1 | 末梢血単核球移植による血管再生治療 | 平成29. 9. 1 | 腹腔鏡下傍大動脈リンパ節郭清術

(令和元年5月1日現在)

先進医療B(第3項先進医療技術)

平成25. 1. 1 | パクリタキセル静脈内投与(一週間に一回投与するものに限る。))及びカルボプラチン腹腔内投与  
(三週間に一回投与するものに限る。))の併用療法 上皮性卵巣がん、卵巣がん又は原発性腹膜がん

平成25.11. 1 | コレステロール塞栓症に対する血液浄化療法 コレステロール塞栓症

平成27. 7. 1 | インターフェロンα皮下投与及びジドブジン経口投与の併用療法

平成28.11. 1 | 腹腔鏡下センチネルリンパ節生検早期胃がん

平成31. 1. 1 | 水素ガス吸入療法



(令和元年5月1日現在)



大学院医学系研究科・医学部

敷地面積 / 51,143㎡ 建物面積 / 33,354㎡

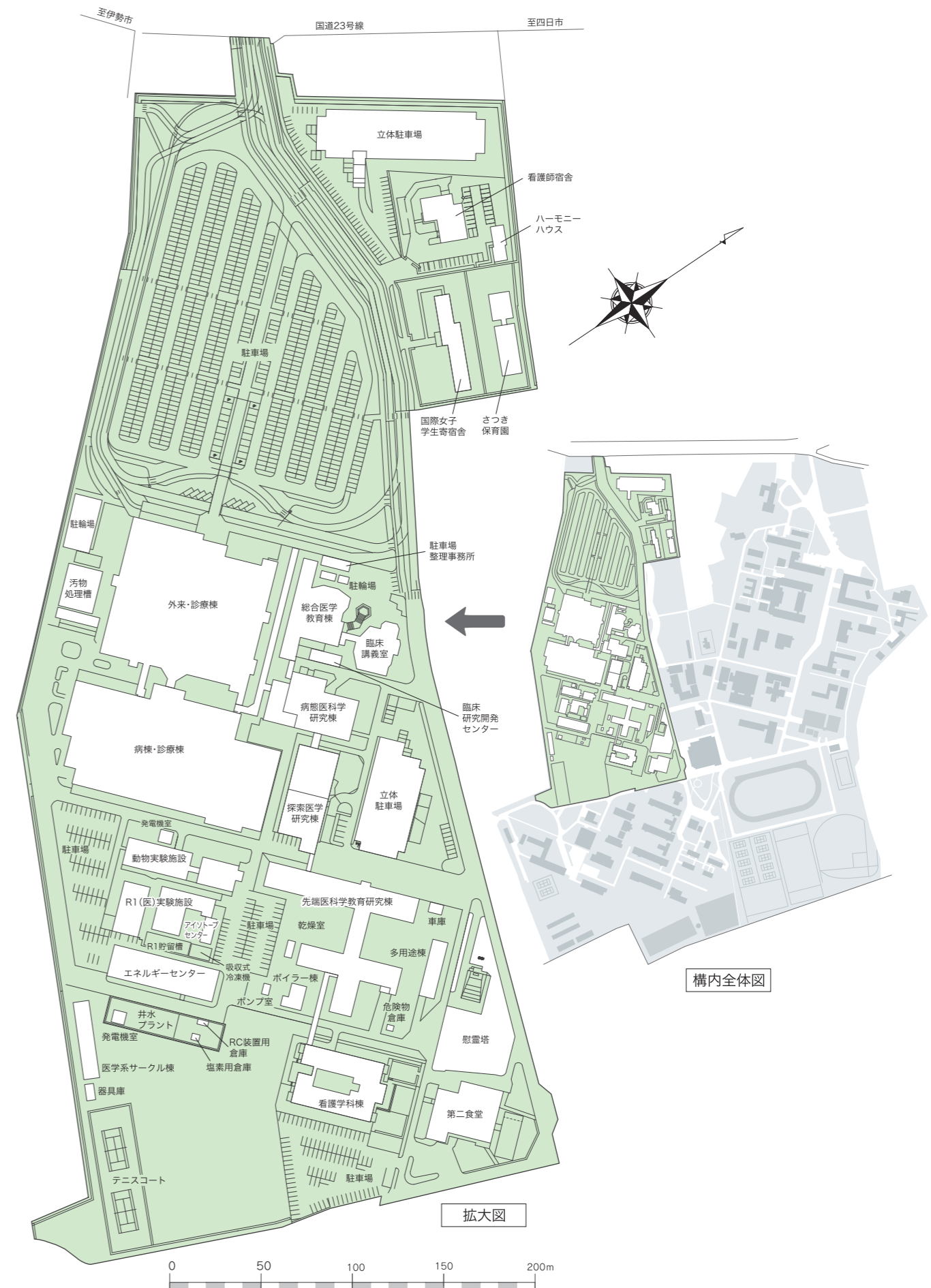
名称	構造	面積 (㎡)	建築年月日
先端医科学教育研究棟(基礎医学校舎)	RC-5	9,139	昭和45.12.15
多用途棟	S-1	288	昭和45.12.15
ボイラー棟	S-1	165	昭和45.12.15
医学系サークル棟	S-1	389	昭和46. 3.31
総合医学教育棟	RC-2	2,130	昭和48. 4.30
探索医学研究棟	RC-3	3,229	昭和49. 8.31
乾燥室	B-1	41	昭和50. 2.28
病態医科学研究棟	SRC-9	9,804	昭和50.12.25
臨床講義室	R-2	621	昭和55. 3.31
看護学科棟	SRC-6	7,056	平成12.11.16
医療技術棟	S-1	156	平成15
渡り廊下	—	186	—
その他	—	138	—
計		33,342	



医学部附属病院

敷地面積 / 68,593㎡ 建物面積 / 82,179㎡

名称	構造	面積 (㎡)	建築年月日
看護師宿舎	RC-4	1,323	昭和50. 7.26
臨床研究開発センター	S-2	224	平成21. 7. 6
保育所	W-2	585	平成22
エネルギーセンター	R-3	2,480	平成22.12.28
病棟・診療棟	SRC-12	40,650	平成23. 6.30
外来・診療棟	RC-5	28,361	平成26.12
ハーモニーハウス	W-1	113	平成26
管理施設	R-2	1,296	—
立体駐車場(2箇所)	—	7,062	—
駐車整理事務所	S-1	87	平成29. 7.31
その他	—	76	—
計		82,257	



  三重大学大学院 医学系研究科・医学部 <https://www.medic.mie-u.ac.jp>

 三重大学医学部 看護学科 <https://www.medic.mie-u.ac.jp/nur/>

 三重大学医学部附属病院 <https://www.hosp.mie-u.ac.jp>

所在地・連絡先

〒514-8507 三重県津市江戸橋二丁目174番地  
TEL 059-232-1111

〈周辺案内図・交通のご案内〉



近鉄電車「急行」で

名古屋より	近鉄名古屋駅	約60分	江戸橋駅	徒歩 約15分
京都・大阪より	伊勢中川駅	約15分	江戸橋駅	

近鉄電車「特急」で

名古屋より	近鉄名古屋駅	約50分	津駅	バス・ タクシー 約15分
大阪より	大阪難波駅	約90分		
京都より	京都駅	約110分		

JR「快速みえ」で

名古屋より	JR名古屋駅	約50分
-------	--------	------

近鉄・JR「津駅」から

- 津駅東口バスのりば「4番」から三重交通バスで、「大学病院」(93系統)、「白塚駅」(06系統)行きの一部で、「大学病院」下車
- 津駅東口バスのりば「4番」から三重交通バスで、「白塚駅」(06系統)、「千里駅」(40系統)、「三重病院」(51系統)、「椋本(むくもと)」(52系統)、「豊が丘」(52系統)、「サイエンスシティ」(52系統)、「三行(みゆき)」(53系統)、「高田高校前」(56系統)行きで、「大学病院前」下車
- 津駅からタクシーで約10分。

近鉄「江戸橋駅」から

徒歩で約15分(江戸橋駅にはタクシー乗り場はありません)。

中部国際空港(セントレア)から

津エアポートライン(船)で津なぎさまちへ40分

- 「津なぎさまち」から三重交通バスで「津駅前」まで約15分
- 「津なぎさまち」からタクシーで三重大学まで約15分

国立大学法人 三重大学  
大学院医学系研究科・医学部 医学部附属病院  
概要(令和元年度/2019)

発行日/2019年10月

発行者/国立大学法人 三重大学

大学院医学系研究科・医学部 医学部附属病院  
〒514-8507 三重県津市江戸橋二丁目174番地